

新高1編入生 約30名 募集

2/8(土) 編入学試験

【東京、本校(愛知県蒲郡市)】

一般編入試験科目	国語・数学・英語・理科・社会・受験者面接・保護者面談
帰国生編入試験科目	国語・数学・英語・受験者面接・保護者面談 または 国語・数学・英語・理科・社会・受験者面接・保護者面談

海陽学園は、全寮制のもとで
基礎学力と人間力をバランスよく鍛える
『全人教育』を行ってまいります。



オープンスクール

事前の申し込みが必要です。

学校施設の見学と昼食体験をしていただけます。入試についてもご説明いたします。

10/14(月・祝) 11/4(月・振) 11/24(日)

入試説明会

本校の概要と入試についてご説明いたします。

10/13(日) 福岡【午後】 10/18(金) 名古屋【夕方】 10/20(日) 横浜【午後】
さいたま【午後】
11/16(土) 東京【午前・午後】



学校法人海陽学園

海陽中等教育学校

学校ホームページ



Facebookページ



■入試説明会

個別相談は事前の申込み順に行います

日程	場所	時間	会場詳細
10/13 (日)	福岡	14:00 ~ 16:00	TKP博多駅前シティセンター カンファレンス4 (JR博多駅 博多口 徒歩2分)
10/18 (金)	名古屋	18:00 ~ 19:45	TKPガーデンシティPREMIUM名古屋ルーセントタワー H (JR名古屋駅 桜通口 徒歩5分)
10/20 (日)	横浜	14:00 ~ 16:00	AP横浜駅西口 E (JR横浜駅 西口 徒歩6分)
10/20 (日)	さいたま	14:00 ~ 16:00	TKP大宮ビジネスセンター カンファレンスルーム3 (JR大宮駅 東口 徒歩4分)
11/16 (土)	東京	10:00 ~ 12:00 14:00 ~ 16:00	TKP東京駅セントラルカンファレンスセンター ホール11A (JR東京駅 八重洲中央口 徒歩1分)

■内容 2020年度入試の説明、本校の概要説明、個別相談(希望者)など

※東京は、同じ内容を午前/午後の2回実施します。

※個別相談は希望者のみで、1組あたり10~15分程度です。

■申込 ①メールアドレス ②希望日・場所・時間 ③受験生の姓名(カナ・漢字) ④学年(中3生を選択)

⑤参加人数(予定) ⑥電話番号(自宅/携帯) ⑦住所 ⑧個別相談の希望の有無

※学園HPの申込みフォームをご利用ください。(締切 開催日の前々日の正午)

※事前の申込みがなくても参加できますが、個別相談は事前申込者のあとになります。

■オープンスクール

昼食準備のため事前の申込みが必要です

■日程 10/14 (月祝) 11/4 (月振) 11/24 (日)

■時間 11:30 ~ 15:00頃 (受付開始11:00)

■場所 海陽中等教育学校 (愛知県蒲郡市)

■内容 2020年度入試の説明、昼食(生徒と同じメニュー)、学校施設・ハウス(寮)見学、個別相談(希望者)など

■申込 ①メールアドレス ②希望日 ③受験生の姓名(カナ・漢字) ④学年(中3生を選択)

⑤参加人数(人数分の昼食をご準備します) ⑥電話番号(自宅/携帯) ⑦住所 ⑧個別相談の希望の有無

※学園HPの申込みフォームをご利用ください。(締切 開催日の前々日の正午)

入試説明会やオープンスクールなどで、
受験生が保護者同伴の個別相談を受けられると、
入試当日の保護者面談が免除になります。(※面接は免除されません)

学校法人 海陽学園 海陽中等教育学校

TEL 0533-58-2406 (平日8:00-12:00 / 13:00-17:00) 学園HP <https://www.kaiyo.ac.jp/>

編入出身のセンパイたちに聞いてみた!

Q 聞き手 N 成田 M 水野

Q 今回は愛知県出身の編入生のセンパイ 2 人にインタビューします。編入生ならではの経験や苦労も聞きたいと思います。まずは、海陽を卒業してからの進路を教えてください。

M 慶應義塾大学文学部へ進学し、社会心理学を専攻していました。卒業後はメーカーに就職しました。

N 僕は藤田医科大学医学部へ進学して、今5年になります。

Q 二人とも同じタイミングで海陽に編入しましたが、近くに進学校もあり、海陽に進学実績などない中で、どうして海陽学園に入ろうと思いましたか？

N 僕が海陽に興味を持ったきっかけは弟の中学受験のパンフレットでした。僕がちょうど高校受験を考えていた時に、弟の中学受験のパンフレットで編入試験の募集をしていることを知り、全寮制ということもあり興味を持ちました。見学もできるということだったので見学に行くと、そこにいた生徒たちがとても自立していて、明らかにそれまでいた中学とは雰囲気違ってました。授業も先生方が熱意を持ってされていて、ここで学べば人として成長しながら自分の将来進みたい道へ進めるのではないかと思ひ、入ろうと思いました。



成田 佑一郎 (なりたゆういちろう)



愛知県名古屋市出身。
海陽中等教育学校 2 期生。
ハウスは B → I → K L。
藤田医科大学医学部医学科 5 年。
昔はプロゴルファーの石川遼選手に似ていると言われていたが、ゴルフはできない。

水野 広稀 (みずのこうき)



愛知県瀬戸市出身。
海陽中等教育学校 2 期生。
ハウスは B → I → K L。
慶應義塾大学文学部卒業後、年収ランキング上位メーカーに就職した営業マン。
藤井 7 段の遠い親戚だが、将棋は指せない。

M 海陽学園が次世代のリーダーを育成するという建学の精神を掲げていたからです。当時、リーダー育成を掲げている学校は自分の知っている限り無くて、とても印象に残ったことを今でも覚えています。また、同世代の人たちと共同生活を送ることが、一般的な進学校で過ごすよりも勉強以外の面でも自分自身が成長できる機会に恵まれるだろうと思ったので入学を決めました。

Q 海陽の編入生で大変だったことはなんですか？

M 最初の勉強ですね。中学校 3 年生の 2 学期にはもうすでに高校の内容に入っているのははじめはちんぷんかんぷんでした。しかし、先生方が時間を取ってくださり補講という形で熱心に指導して下さったおかげで、何とか追いつくことができました。本当に感謝しています。

N 僕も入って始めの方は本当に何も分からず、もはや数学なのか物理なのか英語なのかすらわからないレベルでした(笑)でも先生方が毎週補講をやっていただいたおかげで、なんとか在校生のやっている内容まで追いつくことができ、徐々に授業も理解できるようになっていきました。



N あのような丁寧な補講がなかったら、授業の内容が全くわからずに勉強が嫌いになっていたと思います(笑)

Q 水野君は社会人、成田君は医学部ということで進路が決まっていますが、その進路はいつ頃決めましたか？もしそれが海陽に入ってからとか大学に入ってからなら、海陽のキャリア教育などで自分にとってプラスに働いた部分はありますか？

M 進路は就活を始めてからです。キャリア教育と言えるかわかりませんが、進路を考えるにあたって、フロアマスターの存在はとてもありがたかったです。卒業後も就活の相談に乗っていただいたりしました。皆さんと色々な話をする中で、自分がなりたい社会人像が何となく見出せました。

N 僕が医学部へ行きたいと意識し始めたのは中学3年生の始めぐらいでした。当時公立中学にいた自分は、どういう高校に行くのか悩んでいる時期で、どういう道に進みたいか考えた時に人の命を救う医師になりたいと意識し始めました。

Q 二人は中学を通学制で高校を全寮制で過ごしたわけだけど、通学制では味わえなかった経験とかあればお願いいたします。

M 入学を決めたきっかけでも話しましたが、同世代の人たちと一つ屋根の下で共同生活を送った経験ですね。寮生活では、規律を守り自律することの大切さや、当たり前前に親がやってくれることのおかげで、ありがたさを感じました。また、同世代の人たちと共同生活を送ることは、勉強や部活や趣味など、今、熱心に取り組んでいることを共有することができたり、実際に見て学ぶことができたりするので、刺激的な日々を過ごすことができました。

N 海陽に入ってからみんな勉強に対する意識はもちろん、生活を律する意識も高く、特に自分がリーダーとして活躍するためにはどういったことが必要か考えている人たちが多かったのは、本当に刺激的でした。今でも何かを企画するときにはその時の経験が活かれますし、今後医師になってからチーム医療の中心メンバーとして活躍するためにも必要になるスキルだと思っています。そういった意味でも海陽で学んだ経験は本当に大きなものでした。全寮制の学校ということもあり、友達同士の仲間意識は通学制の学校に通っていた頃よりも強かったように思えます。将来のことをその時に語ったり、受験期には勉強を教えてもらったりと、全寮制だからこそその絆みたいなものも強かったように思えます。

Q では最後に編入希望の中学生に一言お願いします！
M 全寮制という慣れない環境は不安に感じるかもしれませんが、勇気を出して挑戦することをお勧めします。海陽学園での経験は大学生活でも、社会人生活でも、私生活でも必ず役に立ちます。海陽学園で過ごすことができよかったです！そう思えるはずですよ。少しでも興味を持っているならまず受験してみてください！！

N 海陽は進学面だけでなく、人格面でも大きく成長できる学校です。将来どのような道に進むにしろ、海陽で過ごす一つ一つの経験が必ず自分の糧になっていくことばかりだと思います。始めは慣れるまで大変ですが、そのような経験こそが自分をひと回りもふた回りも大きくしてくれるものだと思います。皆さんの海陽への入学を心よりお待ちしております。

Q お2人ともお忙しい中どうもありがとうございました。また今度一緒に飲みましょう！

聞き手
榎田 和宏 (ぼうだかずひろ)

海陽中等教育学校数学科教諭。中学軟式野球部顧問。自身も県内の中高一貫校に高校から入学。二人の中学時代のチューター。
 「練習試合の相手いつでも募集中です。」

デザイン：川添凌太郎（海陽中等教育学校8期生）
 編集：田中英裕（海陽中等教育学校数学科教諭）